

池多小学校のあり方協議会の これまでの活動について

池多小学校のあり方協議会

池多小学校のあり方協議会について

➤ 目的

池多小学校区の児童生徒にとってよりよい教育環境を実現するために、学校再編の方向性等を定めることを目的とする。

➤ 設立日

令和6年4月24日（水）



今年度のメンバー

- 会 長 林正幸（自治振興会長）
- 副会長 中山治彦（池多小学校PTA会長）
- 委 員 田上和信（西押川町内会長）
藤井泰三（北押川町内会長）
山崎信司（山本町内会長）
栗林信夫（平岡町内会長）
松岡英治（開ヶ丘町内会長）
有澤久志（池多小学校教育後援会長）
高山芳樹（池多小学校PTA相談役）
田上和彦（池多小学校PTA監事）
岡崎能理子（池多保育所保護者会長）
小谷祐美（池多児童クラブ育成協議会長）
- 監 事 奥野明博（自治振興会副会長・三熊町内会長）

これまでの主な内容

第1回（令和6年4月24日）

- ・池多小学校の児童数の推移などの状況を確認

第2回（令和6年6月21日）

- ・池多小学校のあり方と今後の活動について、意見交換

第3回（令和6年8月22日）

- ・浜黒崎小学校のあり方協議会会長による講演会を開催

第4回（令和6年10月24日）

- ・池多小学校の学校再編の方向性について、意見交換

第5回（令和6年11月14日）

- ・老田小学校見学会を開催

第6回（令和6年12月18日）

- ・池多小学校のあり方協議会の方向性の決定

第2回協議会（令和6年6月21日開催）

今後の活動について

- 学校統合の議論が先行している地区の委員による講演会
- 学校見学会
- あり方協議会による地区説明会

第3回協議会 講演会（令和6年8月22日開催）



浜黒崎小学校のあり方協議会
（浜黒崎校下自治振興会）
会長 渡辺 正蔵 様

**地域のことは大人の責任であり、
子どもたちの教育環境を第一に考えてほしい。**

第4回協議会（令和6年10月24日開催）

池多小学校の再編の方向性について

池多小学校を「統合するのか」、「統合せず現状のままとするのか」意見交換を行った結果、統合に向けた話し合いを進めることとしました。

老田小学校見学会の開催

統合の相手先の候補となる老田小学校を見学し、統合先の検討の参考とすることとしました。

【統合ケース別】統合にかかる年数とメリット・デメリットについて

○ケース①「呉羽地区の小学校が一斉に呉羽小学校へ統合する場合」

統合にかかる年数	メリット	デメリット
最低でも 10年以上	<ul style="list-style-type: none">・呉羽中学校区として一斉に統合することにより、統合を繰り返すことがない。	<ul style="list-style-type: none">・統合時期は、当分の間は統合しても大規模校となることから、適正規模での統合が可能となるまで年数がかかり、その間複式学級が継続となってしまふ。

○ケース②「池多小学校、古沢小学校の2校で統合する場合」

統合にかかる年数	メリット	デメリット
最短で 2年程度	<ul style="list-style-type: none">・ケース別の内、最も早く統合が実現できると想定され、短期的には複式学級の解消が見込まれる。	<ul style="list-style-type: none">・一時的には複式学級の解消が見込まれるが、最短で令和11年度より再度複式学級の発生が見込まれ、再度の統合が考えられる。

○ケース③「池多小学校、古沢小学校、老田小学校の3校で統合する場合」

統合にかかる年数	メリット	デメリット
最短で 3年程度	<ul style="list-style-type: none">・比較的短い期間で統合が実現できると想定され、一時的には複数クラス（1学年あたり2クラス）の編制も可能となり、複式学級の編制は当分の間は見込まれない。	<ul style="list-style-type: none">・児童数の減少により、いずれは再度の統合が考えられる。

第5回協議会 老田小学校見学会 (令和6年11月14日開催)



池多小・古沢小・老田小の1・2・3年生116名が集まる三校交流会が行われ、他校の友達とも仲良く遊んでいる子どもたちの姿が見られました。

第5回協議会 老田小学校見学会 (令和6年11月14日開催)



普段の授業の様子や老田小学校の施設も見学してきました。

協議会の方向性

『池多・古沢・老田小学校3校の
統合に向けた話し合いを進める。』